

# 愛西市立小中学校適正化事業

愛西市教育委員会では、将来の児童生徒数の推移、子どもたちの学びの変化、学校施設の老朽化等の問題点の解消に向けた愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画の策定に向けて、事業を実施しています。

## ■小規模中学校の規模適正化による効果

愛西市教育委員会としては、特に小規模中学校での生活面、学習面、学校運営面において課題があると判断しています。

小規模中学校の規模適正化により、図の3点について、生徒の教育環境に良い効果が表れると判断しています。

### 1. 社会性を育む機会を設けることができます

子どもたちが  
日々様々な集団の中で  
過ごし、話し合い、  
活動する

問題解決能力やルールを  
守る意識を高めることにより、  
社会性を育む

このような体験機会が増えます。

### 2. 効果的な学びが展開できます

一斉指導  
(教師主導)

対話的学習  
(生徒主体)

#### 協働的な学びの展開

多様な集団構成による、  
様々な意見との触れ合い

#### 学びの共同体

生徒同士、教職員や  
地域の人との対話

### 3. 教科専門の正規教員を揃えることができます

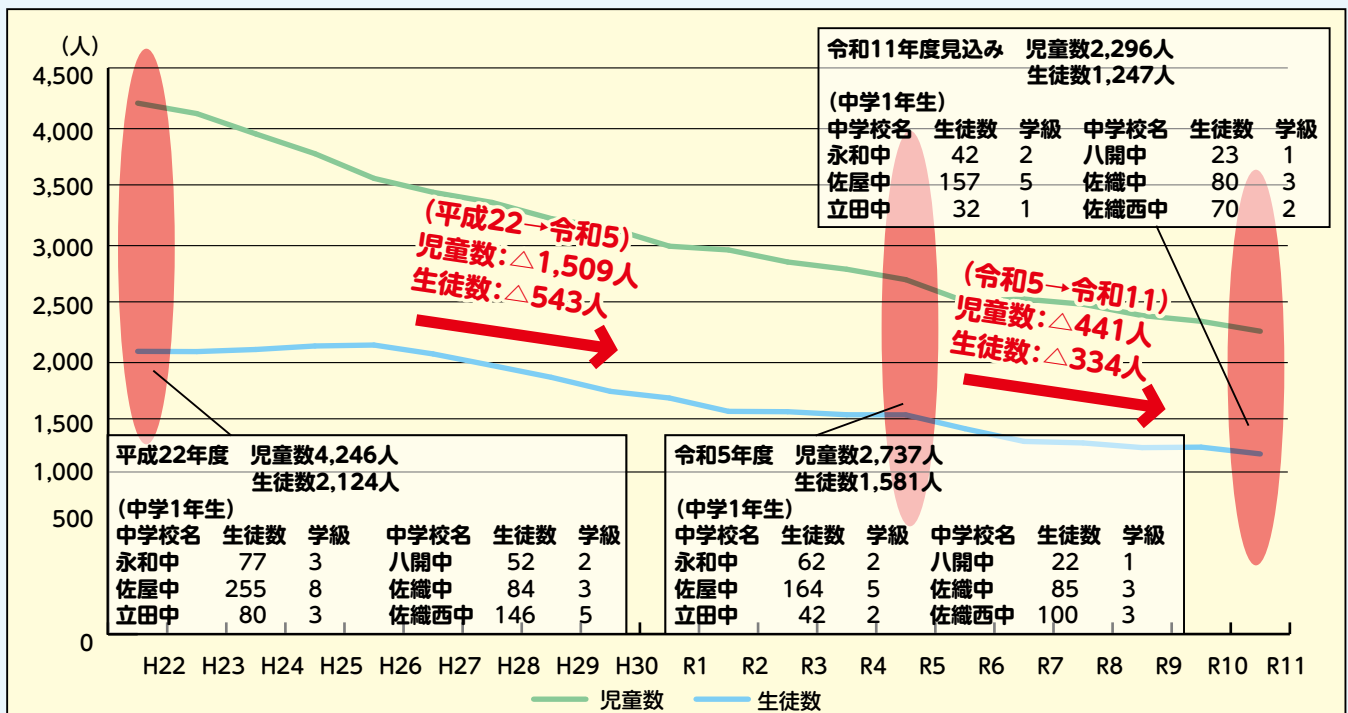
#### ・中学校教員配置定数

	過小規模校			小規模校			適正規模校
通常学級数	3	4	5	6	7	8	9…18
正規教員配置数(人)	10	11	12	13	14	16	17…31

※正規教員配置数には、校長、養護教諭の人数を含む

中学校は9教科あります。適正規模校では教科専門の教員が揃い、生徒の能力を引き出す機会が増えます。

## ■愛西市児童生徒数の推移



平成22年度中学校生徒数2,124人に対し、令和5年度では、生徒数1,581人、令和11年度の生徒数見込みは、1,247人となっており、平成22年度から令和11年度までに計877人の生徒数の減少が見込まれます。